

日本コンクリート工学会の活動

大規模災害に対して学会内に固有の特別委員会を設置している。
結果は、報告書・講演会で公表するとともに、提言を提案している。

1. 東日本大震災に関する特別委員会(2011年4月—2013年3月)
 - ①材料生産・施工、②構造設計、③エネルギー関連施設
2. コンクリートにおける未利用資源の利用拡大に関する特別委員会(2013年4月—2016年3月)
 - ①現状把握、②個別課題の克服、③利活用推進
3. 熊本地震に関する特別委員会(2016年3月—2018年3月)
 - ①建築構造物、②土木構造物、③材料・製品関連施設、④災害廃棄物(がれき)



主要な提言

1. 建築構造物
 - ①地震地域係数の定期的なみ直しの必要性
 - ②既存建物の耐震補強化の推進
 - ③歴史的建造物の維持、被災後の補修方法の情報の共通化
2. 土木構造物
 - ①想定を超える地震に際して、冗長性、頑健性、復旧性の確保
 - ②(港湾空港施設)災害支援の拠点となる施設の構造の強靱化
3. 材料・製品
 - ①復旧工事における材料供給体制の確立
 - ②発注方法の整備、緊急時対応時の法的な緩和措置の設定
4. 災害廃棄物
 - ①大量発生したコンクリート塊の再利用の技術開発と法整備
 - ②コンクリート産業、建設産業の社会的重要性の情報発信
5. 津波対策
 - ①津波避難施設の計画:耐津波性能の高いコンクリート構造物の活用
 - ②津波の作用力の適切な評価、損傷を低減する構造の検討
6. 他学協会
 - ①関連学会協会や関連機関との連携・協力の継続

